

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



令和3年4月1日より歴史まちづくり推進室は、企画調整課地域振興係に変更となりました。

今後、さまざまな地区でのイベントや祭礼、伝承を体験・取材し、町民の皆さまへ「ワクワクするような記事」を一つでも多くお届けできるよう、取材し情報発信を行います。「地区に伝わる風習・昔からある不思議なもの」等ありましたら情報提供をお待ちしています。取材にお伺いするのでよろしくお願ひします。



光明寺集落に春を告げる御瀧神社の滝普請



くろさわじゅんや
今月は地域振興係の黒澤純也が報告します。

今年度から新しく担当になりました黒澤です。
今回参加してきたのは、4月4日に行われた光明寺集落の「御瀧神社の滝普請」です。

「普請」とはどんな意味なのでしょう。

普請とは多くの方「普く(あまねく)」に手伝っていただき事をなす「請う(こう)」ということになります。

言葉のとおり、多くの集落の方々に集まっていただき、大滝・小滝の2つの神池を清めました。

集落の方の話では、「今年は地震の影響もあり例年以上に水が濁っているのでは。」とのこと。濁った水も入れ替わり、心機一転また1年を神様が見守ってくれることでしょう。

これからも集落の行事には積極的に参加をし、先人たちの想いに触れることができればと思います。

以上 黒澤でした。



池の水を抜いて、スッキリ掃除。
意外に水深があります。(1m70cmぐらい)

歴史まちづくりインフォメーション

あつかし歴史館町民講座

菊池利雄先生の研究・資料を読む会

第2回講座「小坂の城館」

日 時 5月26日(木) 午前10時～11時30分
午後1時30分～3時

場 所 あつかし歴史館

定 員 各回15名程度 電話予約制

申込み あつかし歴史館 ☎ 585-4520
FAX585-4521

※今年度は1日2回開催しています。

国見の輝き人 ～国見町で活躍する人を紹介～ vol.16

今回は国際的なウェブデザインコンテスト「Awwwards (アウォーズ)」で、入賞相当の「アナラブル・メンション賞」と「モバイル・エクセレンス・アワード」を受賞した清水公太さんを紹介します。

清水さんは、福島市出身。都内の会社で雑誌の編集や動画制作、広告営業など様々な仕事に携わりました。その後、地元の福島へ戻り、昨年にはメディア製作所「雑多制作」を立ち上げました。くにみ農業ビジネス訓練所の長期研修生として農業も学んでいます。



ーコンテストについて教えてくださいー

世界中から提出されたウェブサイトを、デザイン、使いやすさ、創造性、内容の4つの指標で世界中の審査員や一般ユーザーが採点します。日本だけでなく、国際的にも広く知られている権威のあるコンテストです。

ーなぜ、国見町に移住されたのですかー

40歳までには地元の福島へ戻りたいという考えがあり、都会で感じた故郷の良さ、地元に住みたいという思いが強くなりました。また、以前から農業に興味があり、農業のノウハウを学びながら仕事ができる環境を探していたところ、くにみ農業ビジネス訓練所のことを知り、応募したことがきっかけとなっています。

ー今後の抱負を教えてくださいー

福島県のオープンデータを活用したウェブサービスを提供したいと思っています。最近では、県内の新型コロナウイルス陽性患者属性の視覚化を行いました。また、IT関連の業務改善に関する情報をまとめたウェブサイトの作成なども行う予定です。農業については、訓練所での研修が修了した後の独り立ちに向け、農地を探したり様々な準備を進めていきたいと思っています。仕事との両立は大変なこともあります。色々なことを学んで吸収し、今後役に立ちたいと思っています。



阿部 心咲



八島 加奈



朽木 紗雪

県北中学校
(色鉛筆デッサン)

小さな天才たち